

久居ふるさと郷土会

久居ふるさと文学館主催の歴史講座参加者のうち、もっと久居の歴史を学びたい有志が集まり、郷土久居を勉強する会として令和2年に結成されました。月1回の勉強会や現地調査をもとに、久居地域に根付く庶民の伝統文化に着目し、丹念なフィールドワークでまとめ上げた「久居の瓦鍾馗」のほか、「藤堂源助探訪」、「玉せん寺久居藤堂家墓所探訪」の3冊を現在までに発行されました。現在も精力的に郷土の歴史について研究活動をしています。

『久居の瓦鍾馗』（令和2年7月発行）



関西地方・京都を中心に広く各地で見られる風習である「鍾馗さん」は、「瓦鍾馗」とも呼ばれ、久居の町にも昔はたくさん見られました。「鍾馗さん」を地域特有の文化のひとつと捉え、久居地域に現存する「鍾馗さん」を探して、紹介しています。



～他にも続々と研究誌を発行しています。～

『藤堂源助探訪』

（令和3年8月発行）



『玉せん寺久居藤堂家墓所探訪』

（令和3年6月発行）



久居ふるさと文学館で講演活動も行っています。



～代表の今井さんのひと言～

久居ふるさと郷土会は、「久居ふるさと文学館」を拠点に久居の古代から近世まで同館所蔵の図書出版物を中心に読みながら、時には現地に赴き調査を行っています。興味のある方は一緒に活動しませんか？